

「登米市内58施設照明設備LED化事業」に対する取組支援について

株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）と七十七リース株式会社（社長 早坂 俊典）は、当行の包括連携協定締結先である登米市が実施する「登米市内58施設照明設備LED化事業」（以下、「本事業」といいます。）に対し、リースを活用した取組支援を行いましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本事業は、登米市内の58施設に設置されている照明器具のLED化を行うことで、消費電力量・CO2排出量の削減を図り、環境にやさしいまちづくりの推進を行うものです。

リースを活用することにより、導入コストの平準化や導入後のメンテナンス負担の極小化を図ることが可能となります。

当行グループ会社である七十七リース株式会社は、代表企業として、地元電気工事業者等と連携し、事業体を構築するとともに、本事業にかかる公募型プロポーザルに参加し、優先交渉権を取得、今般リース契約に至りました。

七十七グループは、地方創生・SDGsにおける取組みの一環として、今後とも地方公共団体との連携を強化するとともに、七十七グループの総合力を発揮しながら、地域課題の解決や魅力ある地域の創造に貢献してまいります。

記

本事業の概要（登米市公表資料より抜粋）

事業名称	登米市内58施設照明設備LED化事業
契約方式	付帯サービス付リース契約
契約年数	10年
事業内容	対象施設における照明器具の設置状況を踏まえて自ら行った提案を基に実施するLED照明器具の設置、保守・維持管理等を含めたリース契約
事業限度額	84,288,000円（消費税込・10年間のリース料金）

（関連するSDGs）



SDGs (Sustainable Development Goals)
 2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと、169のターゲットから構成されています。
 七十七グループは2020年7月に「七十七グループのSDGs宣言～もっと、ずっと、地域と共に。～」を表明しました。

以上

